

【参考】民間有識者からの主な意見について

- ・学力テストの結果については、それぞれの市町村によって、様々な事情があると思うが、行政としては、少しでも市町村間の差が縮まるような取組みが求められる。
- ・グローバル社会で活躍できる人材の育成や府立高校・私立高校卒業者の就職について、より一層、経済界との連携強化が必要である。
- ・就職率向上に向けた取組みとして、キャリア教育を充実させることも大事だが、採用する企業側としては、素直さや真面目さ、仕事に臨む態度などを育むことも重要と考える。
- ・障がいのある子どもの自立と社会参加の促進に向け、経済界との連携を一層強化し、府立支援学校高等部卒業生の就職希望者の就職率を向上させることが必要である。
- ・いじめの解消率については、数値が向上し、全国平均も上回っており、これまでの取組みが成果として表れていると考えられるので、今後も取組みを継続されたい。
- ・学校以外で、遊ばなくなった背景と社会構造変化が、子どもたちの体力低下を招いており、学校においても運動機会の充実が継続的に必要である。
- ・民間においては、人員不足・多能化に対応するためトップダウンによるマネジメント力の発揮が必要である。学校現場においても、保護者等の各種ニーズの高まりや学校に対する期待値の高さ等に対応できるよう、トップ（校長）の手腕が必要であり、引き続き、校長マネジメントの強化を図られたい。
- ・共働き世帯の増加、地域のつながりの希薄化に対応し、「おおさか元気広場」「放課後児童クラブ」の継続実施は地域人材との関係強化としても良い施策である。例えば、核家族化が進む中で、地域の高齢者と接点を持つことは地域コミュニティづくりに大いに役立つと考える。